

# 令和5年度 農作物病虫害発生予察11月月報

令和5年(2023年)12月 日  
山口県病虫害防除所

## I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
11.1	18.0	14.2	3.8	26.1	20.2	5.9	11.5	9.2	2.3
11.2	16.6	13.5	3.1	22.1	19.3	2.8	11.3	8.6	2.7
11.3	10.3	12.5	△ 2.2	16.1	18.1	△ 2.0	5.5	7.7	△ 2.2
11.4	9.7	11.2	△ 1.5	15.4	16.8	△ 1.4	5.0	6.4	△ 1.4
11.5	11.0	10.2	0.8	18.5	15.8	2.7	4.8	5.5	△ 0.7
11.6	9.1	9.4	△ 0.3	14.8	15.0	△ 0.2	3.6	4.7	△ 1.1
平均・計	12.5	11.8	0.6	18.8	17.5	1.3	7.0	7.0	△ 0.1
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
11.1	0.0	12.7	△ 12.7	40.6	26.8	13.8			
11.2	11.5	14.1	△ 2.6	23.5	25.3	△ 1.8			
11.3	6.0	14.5	△ 8.5	23.3	23.6	△ 0.3			
11.4	24.0	13.9	10.1	26.4	22.9	3.5			
11.5	0.0	13.2	△ 13.2	31.2	22.4	8.8			
11.6	6.5	13.5	△ 7.0	26.8	21.8	5.0			
平均・計	48.0	81.9	△ 33.9	171.8	142.8	29.0			

## II 作物の生育状況

- (1) キャベツ : 定植以降降水量が少なく、灌水が出来なかったほ場では生育停滞が見られたが、灌水が出来たほ場では生育は順調に進んだ。気温が高めに推移したこともあり、収穫開始時期は前進し、早いところで10月末から収穫が始まった。11月中下旬以降出荷量が増加している。
- (2) イチゴ : 「かおり野」については、11月中旬頃から出荷が始まっており、12月以降本格的な出荷が始まる見込み。1番花、2番花とも出蕾はバラツキが見られるが、生育自体は順調に推移している。

### Ⅲ 病害虫の発生状況

#### 1 野菜

2023年11月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ (調査ほ場数: 中旬 12、下旬11)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年0.8%)、発病株率0% (平年0.1%)、発 病度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—
黒腐病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年2.2%)、発病株率0% (平年0.2%)、発 病度0 (平年0.1) で平年並みであった。	—	—
菌核病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年2.6%)、発病株率0% (平年0.1%) で平 年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年2.8%)、発病株率0% (平年0.2%) で平 年並みであった。	—	—
べと病	中旬の巡回調査では発生ほ場率0% (平年 3.3%)、発病株率0% (平年1.0%)、発病 度0 (平年0.3) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年4.4%)、発病株率0% (平年1.5%)、発 病度0 (平年0.4) で平年並みであった。	—	—
萎黄病 軟腐病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年25.3%)、10株当たり虫数0.3頭 (平年0.2頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.5% (平年23.6%)、10株当たり虫数0.9頭 (平 年0.3頭) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 71
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年17.8%)、寄生株率6.7% (平年 0.6%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率18.2% (平年7.1%)、寄生株率0.9% (平年 0.2%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多 28 少 85 計 113
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年7.5%)、10株あたり虫数0.2頭 (平年0.0頭) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率18.2% (平年11.4%)、10株当たり虫数0.5頭 (平 年0.0頭) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 57

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
キャベツ ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年6.7%)、寄生株率0.3% (平年0.2%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率18.2% (平年5.4%)、寄生株率1.3% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中	14
			少	14
			計	28
シロイチモジヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年4.2%)、寄生株率11.3% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率81.8% (平年5.0%)、寄生株率14.2% (平年0.2%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚	28
			中	28
			少	71
			計	127
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年15.5%)、寄生株率1.0% (平年0.5%) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率27.3% (平年9.8%)、寄生株率0.5% (平年0.2%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	14
			少	43
			計	57
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年8.4%)、寄生株率2.5% (平年0.3%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率63.6% (平年16.6%)、寄生株率4.0% (平年0.9%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多	14
			中	28
			少	57
			計	99
アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年36.1%)、寄生株率1.8% (平年3.2%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.5% (平年32.2%)、寄生株率6.2% (平年2.7%) で平年に比べ多かった。 主要種はモモアカアブラムシとニセダイコンアブラムシであった。	県内全域	中	14
			少	57
			計	71
キスジノミハムシ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年1.7%)、寄生株率0.2% (平年0.0%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率18.2% (平年0.8%)、寄生株率0.5% (平年0.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	28
イチゴ (調査ほ場数:20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年20.0%)、発病株率0.6% (平年3.8%)、発病葉率0.2% (平年1.1%)、発病果率0% (平年0.5%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	10
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5% (平年3.8%)、発病株率0.1% (平年0.1%)、発病果率0.0% (平年0.0%) で平年並みであった。	県内全域	少	5

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.5%)、発病株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—
菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.0%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年8.0%)、発病株率0% (平年0.4%) で平年並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.0% (平年26.4%)、寄生株率10.8% (平年4.9%) で平年に比べ多かった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	多 5 中 10 少 30 計 45
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年28.0%)、寄生株率4.1% (平年7.4%) で平年並みであった。主要種はナミハダニであった。	県内全域	多 5 少 10 計 15
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年9.0%)、寄生株率0.3% (平年0.3%) で平年並みであった。	県内全域	少 10
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年21.9%)、寄生株率0.1% (平年2.6%) で平年に比べ少なかった。主要種はオンシツコナジラミであった。	県内全域	少 5
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年13.7%)、寄生花率0.8% (平年0.9%) で平年並みであった。主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	中 10 少 15 計 25
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年0.5%)、寄生株率0.0% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 5

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																					
ハスモンヨトウ	<p>10月のフェロモントラップ（防府市牟礼）の誘殺数は4,442頭であった。 10月21日～11月20日の県内他地点のフェロモントラップの誘殺数は、下記のとおりであった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">フェロモントラップでの誘殺数（頭）</th> </tr> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>3,477</td> <td>1,469</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>352</td> <td>324</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>211</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>364</td> <td>1,428</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>1,451</td> <td>556</td> </tr> </tbody> </table> <p>※10月21日～11月20日の合計</p>	フェロモントラップでの誘殺数（頭）			地点	本年	平年	周南市熊毛	3,477	1,469	山口市阿東	352	324	萩市明木	211	54	下関市清末	364	1,428	柳井市伊陸	1,451	556	—	—
フェロモントラップでの誘殺数（頭）																								
地点	本年	平年																						
周南市熊毛	3,477	1,469																						
山口市阿東	352	324																						
萩市明木	211	54																						
下関市清末	364	1,428																						
柳井市伊陸	1,451	556																						
オオタバコガ	11月のフェロモントラップ（防府市牟礼）の誘殺数は93頭であった。	—	—																					
シロイチモジヨトウ	11月のフェロモントラップ（防府市牟礼）の誘殺数は20頭であった。	—	—																					
コナガ	11月のフェロモントラップ（防府市牟礼）の誘殺数は33頭であった。	—	—																					
アブラムシ類	11月の黄色水盤（防府市牟礼）の誘殺数は89頭であった。	—	—																					

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター（山口県病害虫防除所）

TEL (0835) 28-1211 (代)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp